



# 桐 特大号



大東文化学園教職員組合連合機関紙  
2015年12月22日発行 第1098号

## 2015年度 教育・職場環境に関するアンケートまとめ

大東文化大学教職員組合執行委員会

大学教育

キャンパス問題

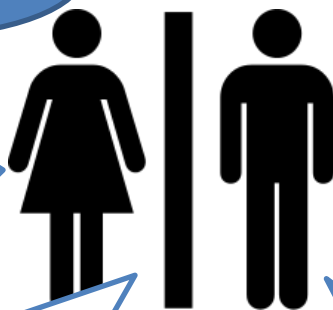
教員と職員の  
関わり方

学長選挙

高大連携

性別	男	21	(41.2%)
	女	12	(23.5%)
	未回答	18	(35.3%)

年齢	20代	2	(3.9%)
	30代	4	(7.8%)
	40代	12	(23.5%)
	50代	10	(19.6%)
	60代	8	(15.7%)
	70代	1	(2.0%)
	未回答	14	(27.5%)



ご所属	(1) 板橋	2	(41.2%)
	(2) 東松山	12	(23.5%)
	(3) 信濃町	1	(2.0%)
	未回答	17	(33.3%)

大学組合では、2015年春闘アンケートの他に教育・職場環境に関するアンケートを大学全教職員対象に7月上旬に配布、9月下旬まで集約しました。

配布について任意性を重視し記録を取らずに各部署にまとめて配布したため、認識性に欠けてしまい、配布数は1000部を超えましたが、最終的な回収数は51通にとどまりました。

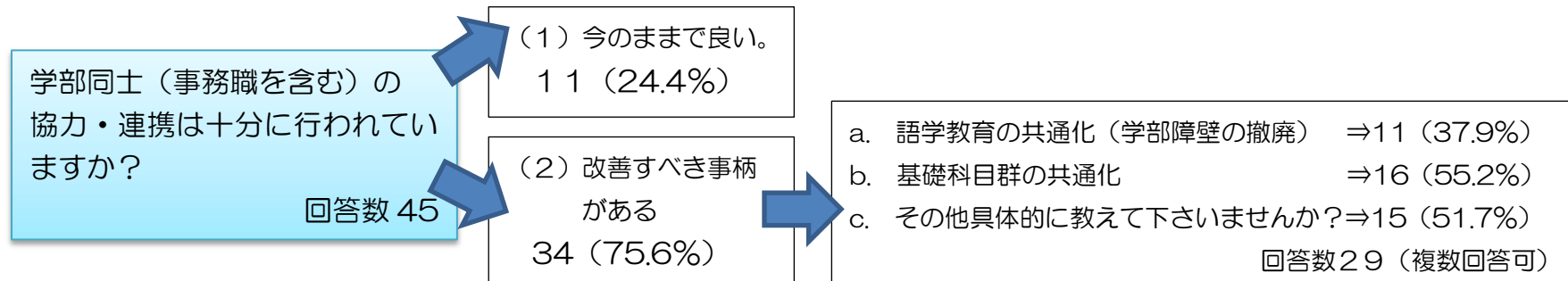
また広く意見を集約できるよう、自由記述欄を多く設けたものの、記述のあるものは少なく、今後は内容の精査と配布・集約方法についても検討して、次回2016年2月配布のアンケートに取り組んでいきたいと考えております。

お忙しい中、アンケートにご協力頂きました皆様ありがとうございました。  
(書記局)

在籍年数	(1) 0～3年未満	8	(15.7%)
	(2) 3年～10年未満	8	(15.7%)
	(3) 10年以上	19	(37.3%)
	未回答	16	(31.4%)

大学定例総会議案書にアンケート集計結果のご報告をいたしました。自由記述についてまとめたものを掲載いたします。個人の特定される恐れのあるものは除き、集計順に記載しています。

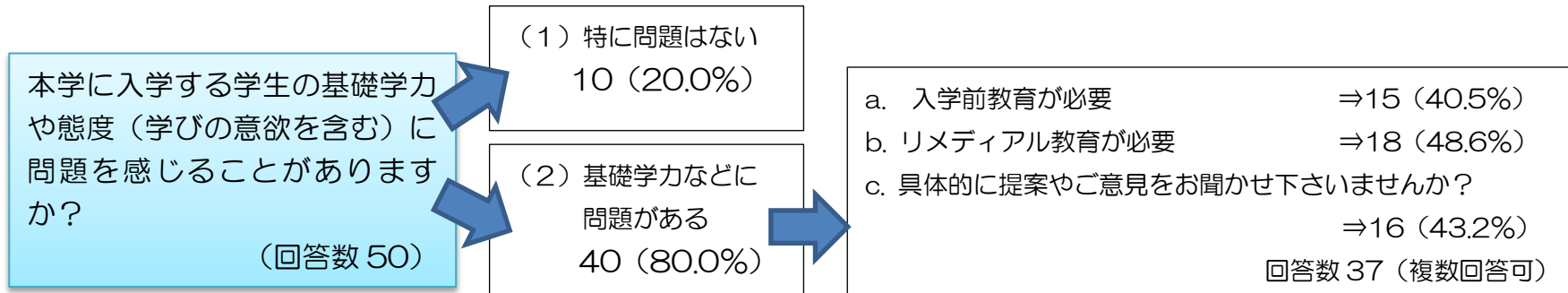
## 大学教育について



### c.自由記述

- 学年暦が異なり、試験中に実習が入ったりするため、全共を取りにくいのがもったいないと思います。
- 赴任後間もなく、まだよく把握できていません。
- 学生・教職員参加の学部学科を超えた交流会のようなものがあるとよい。
- 語学・基礎科目も含めた学科間カリキュラム連携 (横断履修) の検討
- 学部間の単位交換等を通じ、スポーツ科学科の授業を他学科のスポーツ推薦入学者が履修できるようにすべきと思う。
- 大学共通教養科目の設置を提案します。3 科目ですが、哲学 (人文系)、経済学 (社会系) 統計学 (自然系) です。大東文化大学学生が共通して学ぶ基層となる教養というコンセプトです。存在・時間・人間の生と死など、根本的な思考の経験をし、社会システムの知識として必要不可欠な経済原理を学びそして、統計学は数字が表す指標を解釈する方法を身に付けます。中世の三学四科 (文法・修辞・論理学+算術・幾何・天文学・音楽) に代わる教養として哲学・経済学・統計学の 3 教養科目の設置を改めて提案いたします。

- 事務の負担が多い。(他学部の先生からの質問等が多い)
- 語学教育と言っても、語学が専門の場合とそうでない場合は分けて考えるべき。専門でない語学は共通化もあり得るのでは。
- 全学教務委員会を設置し、調整機能を強化する必要がある。
- 大東文化大学生として共通に身に付けておいた方が良いと思われるものを強化しては? (具体的には体力と字の美しさ。書道?)
- 大学全体の国際化と外国語教育の共通化に対する連携が見られない。
- (学科によっては) 科目名が体系化されておらず、学生の就学意欲を削ぐ結果になっていないか心配になる。
- ファカルティに関わるが、学生の「学び」の様子を適宜交流できるようにしたい。
- 学部の必須レベルを TOEFL/TOEIC などで点数化しては?
- もう少し学部間の自由な交流があったほうが良い。
- 情報の共有がない。むしろ学生のプライバシーに関わる人が多いので守秘意識が強い。



### c.自由記述

- ・個人個人違いがあるが、真面目な普通の学生と、問題あるそれが両極化している気がする。深刻化しないうちに対応すべきである。
- ・今まで多くの大学にて非常勤で見聞した経験では、本学は全体的に気持ちのいい学生が多い。それを大事にしていきたい。
- ・大学の授業を理解できないものを入学させるのがおかしい。大学で中学レベルの英語のクラスなどもってのほか。大東文化大学は「大学」です。一高の学生さんで勉強の苦手な人には大学に行って困らない様にリメディアル教育をするのも良いと思います。スポーツ推薦がひどい。「何様のつもりか」ってぐらい態度が悪い。勉強もしない、サボる、でも単位くれと言う！
- ・入学までに最低限この知識は身に付けてほしいとして、参考書籍を通知してもいいと思います。(やるかどうかは本人にまかせる)
- ・入学前の時間を活用することも良いが、入学後の指導を工夫。充実することが重要だと思います。
- ・予算的制約のある学部もある。もう少し配慮をしていただけると有難い。
- ・総定員 2590 をそろそろ見直すべき。全体的な底上げの検討。
- ・当方が責任を負うのは、社会へ送り出すに際して本学の卒業生であることです。基礎学力は勿論コミュニケーション能力等を養う必要があると思います。
- ・上に提案する哲学・経済学・統計学は高校で倫理、現代社会・数学Ⅰでその基礎的な考え方を学ぶ機会はある。この教養科目はそれぞれ高校での倫理、現代社会そして数学Ⅰの当該科目の復習でもよいと考える。高校での学習の復習でもよいからこれらの科目のもたらす根本的な思考の方法、知識の全体像等を獲得させる訓練をしていってはどうだろうか？工夫が必要である。

- ・例えば、スポーツ推薦入学者のための語学・基礎教育課程表の実施など
- ・学生の態度が悪い場合は（遅刻・途中退室・私語・居眠り等）でも叱らないのは問題である。
- ・勿論、入学前教育やリメディアル教育も必要だが、上級生との交流を通じて、学生自らが学生共同体を形成する←教員も職員もそれを支援し、高い学び合いができる環境を作ることが重要ではないか！
- ・学力よりも学ぶ意欲が足りない。
- ・教育のスタイルを変えるべき。少人数教育をもっとするべき。10人以下の教室を認めるべき。講義ではなく、体験授業にするべき。
- ・学力のなさに驚かされる。中学校英文法も理解していない。しかし本人は出来るつもりでいる。もっと予備校の様な授業科目を増やすべきである。「～学概論」と言った科目は最小限で良い。
- ・ありのままの学習者を受け止めるのは教育者の仕事なので「特に問題はない」と思う。「学びの意欲」の有無も、大学の2週目からは、学生ではなくこちらの問題でしょう。
- ・リメディアルより通常の授業の中で高い課題をグループでチャレンジする中で学力の再構築が達成されるはず。(cf「学びの共同体」の大東版)
- ・人数確保のための推薦で多くの学生を取りすぎ。一般入試で戦えない大学は残らない。一時入学人数が少なくても長い目で見て本当にこの大学で学びたい学生を取るべきだ。
- ・オープンに学園の見解を公表する。学生にも自分の置かれた状況がわかるよう指導する。

東松山キャンパス（あるいは基礎教養教育の場）で基礎・教養教育が成功している（学習成果として確認できる）とお考えですか？  
(回答数 34)

(1) 成功している。  
10 (29.4%)

(2) 不十分である 24 (70.6%)

板橋（あるいは高等専門教育の場）で専門教育は成功しているとお考えですか？  
(回答数 33)

(1) 成功している。  
11 (33.3%)

(2) 不十分である  
22 (66.7%)

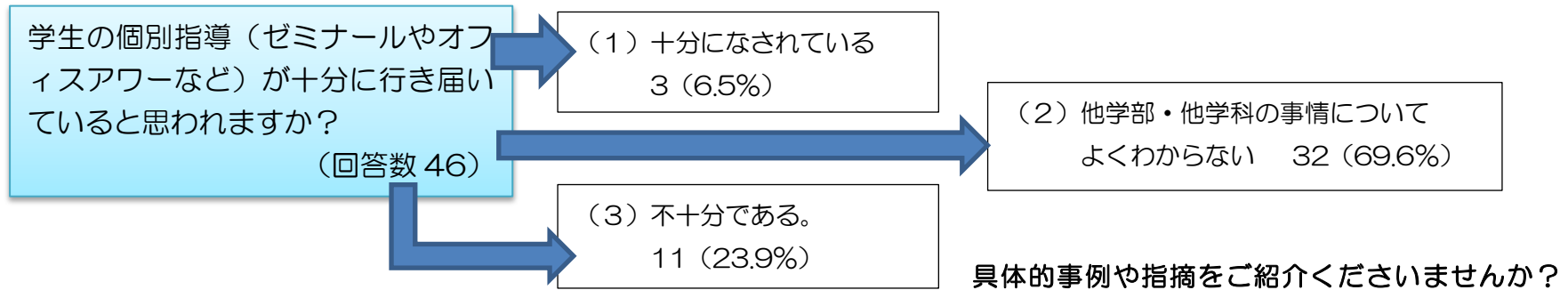
具体的事例や指摘をご紹介くださいますか？

<東松山>

- ・受講者数が非常に多い科目がある。
- ・学生の本分である勉強が身につけていない学生が多く感じる。東松山で何でもしてあげすぎなのでは？自分で考えて行動できない学生が多い。
- ・まだよくわかりません。
- ・基礎演習でレポートの書き方や課題の追及のしかた、パソコンの使い方、図書館の利用など不十分である。
- ・専門科目を教えていて不十分と思える。
- ・教養系科目は多いものの基礎的科目が不足している。
- ・スモークボード式で学生は何となく面白そうで単位がとりやすいものを適当に取っていくだけである。全学共通科目は卒業要件分だけ履修しても、それらが学生にとって世界や社会を全体的、根源的に促したり、思考させたりする経験につながっていかないとされる。バイキング式食事では栄養バランスを崩すものである。
- ・取得できていなく、3、4年になっても東松山に通う学生が増加しているように思う。
- ・どちらとも言えない。
- ・カリキュラム変更の効果待ち。
- ・イメージがわからない。語学が上手くなったとか、歴史が深まった、体力がついた等の顕著な結果が見えてこない（バラバラな感じ）。
- ・安易に追加課題や救済をして、悪循環になっていると感じる。まちがったメッセージを送ってしまっている。
- ・東松山の教員は専門演習（ゼミ）が出来ず、多様性に欠ける。東松山の教員の能力を発揮できる場がなくてもったいない。
- ・徹底的に基礎学力をつける科目が必要である。
- ・積極的に授業に参加できる学生が一部だけ。
- ・語学レベルが低い。
- ・東松山キャンパス不要。1～4年まで板橋でやるべき。
- ・入試が易化すぎて学習意識の低い学生が多く、指導が困難になっている。

<板橋>

- ・ある程度成功している。でもその専門についていけずにドロップアウトする学生もいる。
- ・学生の英語力の更なる伸長と自主セミナーやワークショップなどによる専門教育の補充が必要。 ・もっと IT リテラシーの教育を導入すべき。
- ・学部によって事情は違うでしょうが所属学部については、かなり問題がある。
- ・基礎教育（とくに文章表現力の養成）が不十分でレポート・論文等がまとまらずに書けない学生が多い。
- ・就活中心の3、4年だけの校舎であるが、1、2年生も参加できるような project を全学的に考える必要がある。 ・保育はまだこれからである。
- ・どちらとも言えない。科目数の多さは感じている。
- ・板橋でやるべき専門教育科目が東松山で開講されているケースが見受けられる。
- ・専門と就職を結びつけるわけにもいかず、専門教育の成功を何で測るのか？司法試験合格率、公務員合格率…専門教育の成功の判定尺度はどこにあるのか不明瞭。
- ・クラスのサイズがとても大きく全員に教育内容が行き渡っているとは言えない。板橋の教員は東松山の教員を見下している傾向がある。これも良くない。
- ・学生のためになる専門科目が少ない。 ・単位認定が甘すぎる。
- ・語学を専門的に学ぶのに授業数が少ない。
- ・1～4年板橋でないとは不十分。特に4年生は板橋を利用している。



- 中高生ではないので、手取り足取りは必要ないが、不登校気味の学生はそのままほっておく（ほっておかざるをえない←電話もメールもでないのでどうしようもない事もある）状況は考えないといけない。一部の先生は上手く学生と接しているが、全ゼミ生と上手くいっているかと言えば違うように感じる。
- とにかく教える科目（大学院も含め）が多すぎ。ひとつひとつに丁寧に教える時間がない。教える側も学ぶ側もバラバラの断片を多く持っているだけ。中味が空っぽ状態。→統廃合を進め大学を縮小する8割程度に。
- ゼミはともかく、オフィスアワーは未だ利用されたことがない。オフィスアワーが十分に活かされていない。

- 個々の教員次第と思われる。
- オフィスアワーだけで個別指導ができるのか。ゼミ（飲み会、合宿、その他の）活動全体を通じて考えられるべきで、オフィスアワーはその一部分（小さな）にすぎない。ただ組織的に取り組まれてはいないという意味で不十分か？
- ゼミによっては、学生任せで自由が多いと聞くゼミがあるらしい。
- 個別に対応するケースは休んだ理由を伝えるために利用しているのがほとんどではないでしょうか？
- キャリア教育なし。

## キャンパス問題

現在の2キャンパス制度（2学部を除いて、1学部2キャンパス制になっている状況）についてどうお考えですか？

(回答数 46)

(1) 今の現状が最高の姿である。  
6 (13.0%)

(2) 問題が指摘できる。  
40 (87.0%)



(2) 問題が指摘できる。

A 他に具体的懸念をお教え下さいませんか？

- (1) 学生教育が十分にできない。 ⇒18 (52.9%)
- (2) 管理上の諸問題 (会議運営や通信コストなど) が生じている。 ⇒11 (32.4%)
- (3) 教育の質が問われる大学間競争力を失っている (いく) ⇒13 (38.2%)
- (4) 他に具体的懸念をお教え下さいませんか？ ⇒12 (35.3%)

回答数 34 (複数回答可)

B それでも現状をやむを得ないと思っていますか？

- (1) 学生募集に不安を感じる (東松山に移ってしまっは学生が集まらない)。 ⇒13 (54.2%)
- (2) 通勤が不便になるのでいやだ。 ⇒ 5 (20.8%)
- (3) キャンパス統合のための適切な時期を失ってしまった。 ⇒12 (50.0%)
- (4) 他の理由があればお教えいただけませんか？ ⇒2 (8.3%)

回答数 24 (複数回答可)

A (4) 他に具体的懸念をお教え下さいませんか？

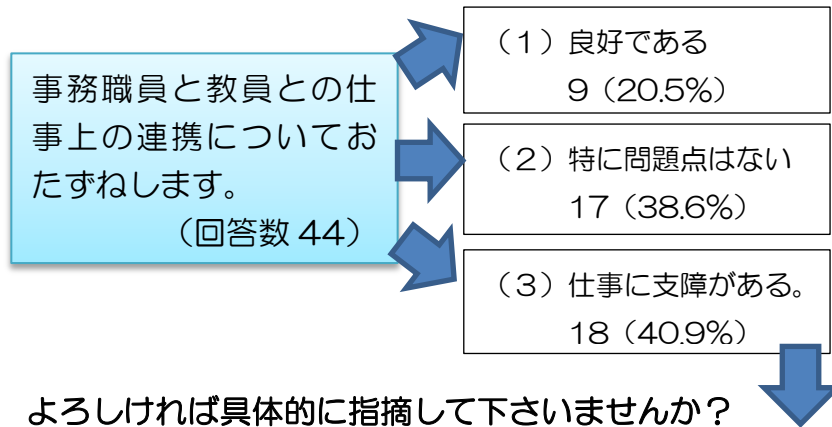
- ・板橋と東松山所属の教員の間に様々な点で意識の違い (大学運営・授業など) が見られるのが心配である。
- ・東松山でどんな対応をしているかわからない (ガイダンスなど) 3 年になって学生も右往左往している。
- ・基礎教育科目を板橋でも開講すべき。板橋と東松山両キャンパスに通ううちにドロップアウトすることも考えられる (ま、単位を 1,2 年で取れないのが悪いと言われればそれまで)
- ・学部によってどちらかのキャンパスに分ける案もありだと思えます。
- ・せめて語学は両キャンパスで受講できるようにする必要があります。
- ・授業資料や教具等の運搬に不便を感じる。
- ・千葉や北関東の実家から東松山に通うと通学時間につかれ、修学意欲減退の一因、ひいては退学の一因になってしまっているのではないかと (データはないので、私の個人的感想です。)
- ・受験生が集まらない。(親が候補から外す)
- ・(2 キャンパスが) 特徴の一つでもある。
- ・東松山キャンパスのアクセスの悪さに受験生が敬遠する。志願者が減る。
- ・4 年間、同一のキャンパスが望ましいが…。工学院大学は逆に 1~2 年と 3~4 年 (新宿) に分ける構想があるとか。
- ・(学部によるが) 学生募集に不安を感じる。

- ・1, 2 年生に、3, 4 年生の姿が見えない。
- ・1 年から 4 年まで同一キャンパスで教育効果は大きい (先輩に学ぶことが出来る)
- ・教員と学生のコミュニケーションも取りやすい。教育の効果を大きくするには同一キャンパスが望ましい。
- ・階級社会が出来ている。板橋キャンパスの教員が全て決めて、東松山の教員の意見を全く聞かない。組織として非常によくない傾向である。
- ・学生よりも教員や事務職員への負担が大きいと感じます。学生の事だけを考えれば現行のままでもよいのかもしれない。
- ・特に 2 年生と 3~4 年生との連絡 (交流) が足りない。
- ・コストだけではなく板橋・東松山で同じにすれば良い手続き etc (←試験など) が共通化されていない。
- ・図書館の開館時間が短い。スクールバスも終わりが早い。
- ・大学教育ははっきり教養教育と専門教育に分けられるものではない。2 つのキャンパスが離れすぎていて両方の講義に出ることは難しい。
- ・地方の学生は東京の大学に通いたいと思っているのに、(現実に学生はそう話している) 松山校舎ばかりを大きくし、学生が集まると思っているのが不思議。文系の大学なのだからもっと文系学部を特化すべき。

B (4) 他の理由があればお教えいただけませんか？

- 早期に合意を取り付けて学部統一を図るべきである。
- 交通の利便性が一番！
- キャンパスを統一あるいは新設しても投資額を回収できないと予想される。
- 統合するのなら都内であろう。
- もう衰退あるのみ

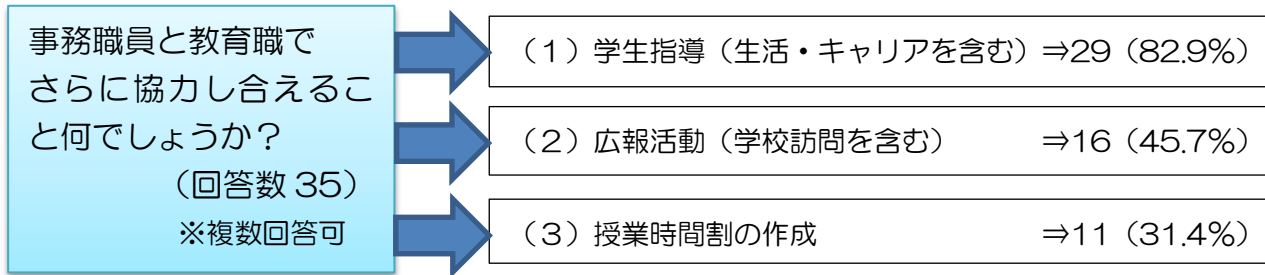
## 教員と職員の間わり方



### よろしければ具体的に指摘して下さいませんか？

- 教員側が事務職員に対してその意見を十分に尊重しない。
- 一部の教員は職員を見下している。
- 事務職員はサポートするという姿勢ではなく、横柄な態度、情報を正確に流す、正確な情報を流すべきであるという姿勢に欠けている。
- 教員の方が偉いと思っている教員が多すぎる。
- 教員が忙しく、打ち合わせの時間を十分に持てない。
- 別べつである!! 教員はえらいと思っている!!
- 教員もそれぞれ、職員もそれぞれなので。ただ、教員が上、職員が下、ではないはずだ。
- 仕事量・学生数が圧倒的に多い東松山校舎に事務職員が少ないため教員の仕事の負担が増えてしまう。
- 事務職は休みが多すぎる。

- 学生（及び一部の教員）にかかわるトラブルの対応がすべて学部委ねられている感がある。法務・危機管理など専門知識を備えた事務スタッフの採用・養成が急務と思われる。
- (大学教育ビジョンの構築などに支障がある) 事務職員は教育行政の視点をもっと持つべきであり、教員については、教育ビジョンと相俟った教育経営の視点があまりにも欠落しているように感じる。双方がもっと高い意識を持って連携をしていかない限り、これからの私学競争には残っていけないと思う。
- 職員の勤務時間や役割を理解して教員は動いてほしい。
- 基本的には問題は少ない。ただし、一部の事務職員は業務の円滑な遂行の為、学外での研修を受けることが望ましい場合がある。
- 事務は手伝い程度に考えている教員がまだまだ多い。
- 拓大のように学部再編成するのに利用する手もあるかな。
- スポーツやアジアは東松山で成功している（少なくともスポーツ・健は）
- 文学部や外国語学部は東松山でもよいかも。それに環境創造も
- 法学部も公務員（地方）を目指すのであれば東松山でも十分ではないか。
- 威圧的な教員、一方的に意見を語る教員。
- みなさん内向きで、ベテランの教員や職員さんは知っていることが、新しい教員には伝えられていない。不親切だと感じる。意図的に対応をかえて、説明責任をのがれていたり、仕事の手間を軽減するのに使われてしまう。内部でこんなことをする組織は危険です。外を意識してほしいです。
- 事務職員は忙しすぎる。あまり異動しないほうが良い。教員に権限があり、事務職員は教員（教授）に何も言えない。権限を平等にするべき。事務職員＝教授。
- 良い事務職員もいるが、中には常に教員の揚げ足を取ろうとする者もいる。教員が全てまともだとは思えない。しかし事務職員への不信感は強い。
- 学部によっては苦労が多いようです。



その他にあれば教えてください。

- 学生指導はすでにしている。
- 外の仕事も大事ですが、主は大学ということを忘れないでほしいです。
- 事務職員の教授会出席
- 学生の様子を職員・教員がわかるように。学生が相談しやすいように。
- 国際は問題なく協力できています。
- 大学の管理と運営も。

- 学生指導…情報の共有が不十分=もっと情報の交流を活発に  
広報活動…事務に適任の場合と教員に適任の場合がありそう  
授業時間割の作成…カリキュラムと時間割を共同で作って上げてはどうか。  
学生が学び易い時間割を中心に作っていったら。
- 学生の人格育成のため、是は是、非は非を教え込む必要がある。学生の言うことを鵜呑みにしない事。

## 高大連携について

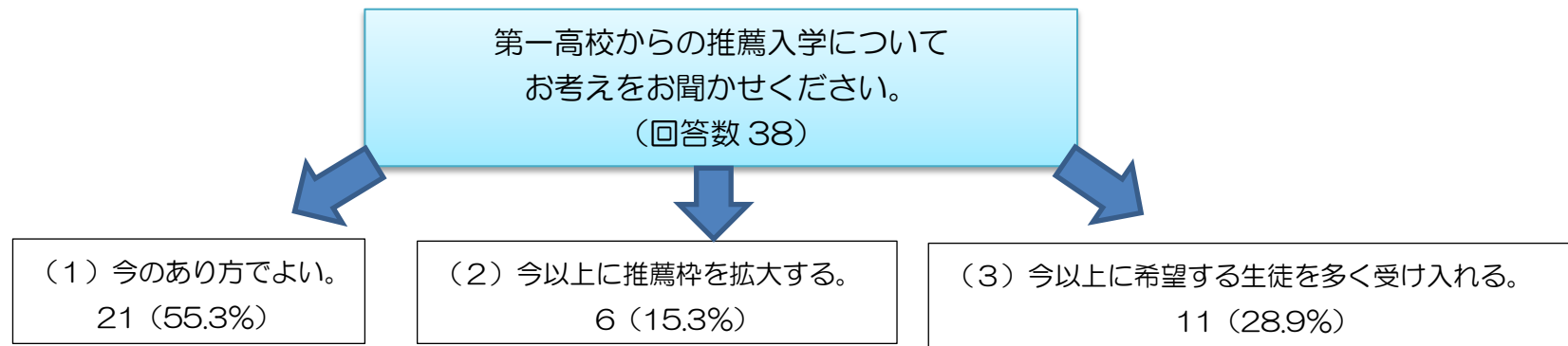
併設の第一高等学校と大学のあり方についてどのようにお考えでしょうか (回答数 42)

(1) そんなことは今まであまり考えたことがない。  
12 (28.6%)

(2) 高校と大学とは別個のものだとみなして独立に考えるべきだ。  
11 (26.2%)

(3) 高校と大学とを一体として考えるべきだ。  
19 (45.2%)



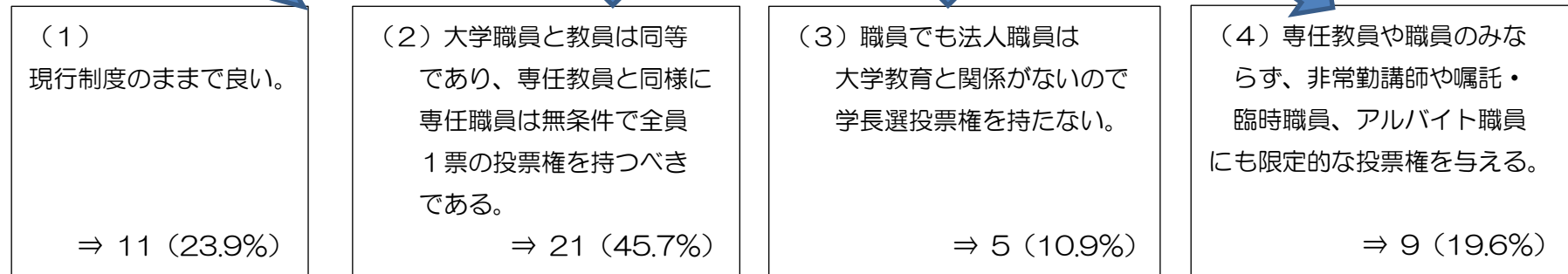


そのために高校・大学がすることなど、ご提案があればお聞かせください。

- 一高と大学がどう考えているかと思う。一高生も大東生も愛校心は薄いと感じる。せめて一高生ぐらいは「高校から大東文化大学だ！」と言える大東生であってほしい。一高生の大学での不登校や落第も多い。
- 推薦基準はあげたい!
- 高校の教員は自分たちのことだけ考えていると思います。高校は自分たちで!!運営できますか?
- OB だが、一高推薦で入学するまで大東大の中をほとんど知らなかった。触れる、知る機会がより多くあれば、行きたいと考える一高生も増えるのではないかと。勉強を頑張り、成績が上がれば他大学に目が行くかもしれないが、大東大の魅力を伝えきった上で他大にチャレンジしてほしい。
- (今以上に希望する生徒を多く受け入れる) ただし、入学後の一高生の平均 GPA が大学全体の GPA 平均を上回ることが前提。
- 生徒の質。本当に大東に来たいのか
- 一高生に大学、特に東松山校舎の魅力をアピールする。
- 独立に考えるべきだが、協力できるところは、もちろん協力すべき。
- 高校の位置づけをもっと明確にすべきである。付属高校とするのか、同一法人ではあるが別個と考えるのか。大学と高校のキャンパスを分離すべきである。
- 高校の教育と大学の教育に共通点があるのであれば関係を強化しても良いが、少なくとも現在は別々の形態になっているので、このままでもよいのではないかと。一高に入った生徒の学力は伸びている(高校教育を通して)のだろうか。推薦で入ってきた生徒の意見では「ぬるま湯」だったと言っている。
- 付設⇒付属校へ。
- 外部受験・推薦は各自の問題なので今のままでいいのでは…。
- 第一高校から 100%生徒を受け入れるべきだ。
- 東大付属方式で。教育学科付設にして、良い意味で「学びの教育の実験校」にする。
- 推薦入学について、今のあり方で良いが、受験してきた生徒(学生)との差を埋めるための、大学教育に適應できるための事前教育が必要かも。
- ただ入学者を増加させるだけでは×。入学者のレベルアップが必須。
- 一高の学生の中にはセンスがよい学生がいる。

## 学長選挙について

現在、学長選挙について、一部の職員のみが投票権を持っています。この状態についてどのようにお考えですか？  
(回答数 46)



### 学長選挙についての自由記述 (学園に対する要望記述欄より)

- 学務系に所属していて、事務職に学長選挙の投票権がないのであれば、基本的人権の一つを無視していることにならないのだろうか？
- このような(学長選挙の)質問がとても内向きだと思います。皆、外の出来事に対して同じ方向を向いて考えるべき。
- 学部から学長をもってくるべき。
- 学長選挙に非常勤講師や嘱託・臨時職員、アルバイト職員も何らかのインプットの機会はあるのも良いのではないか。
- 学長選挙について、学園の意思決定法がステークホルダーにわかりやすくした方が良い。全員で選んだ学長であれば、ガバナンスが明確になる。

学園に対する要望がございましたら、自由にお書きください。

- 都心回帰の流れに沿って、学園全体を見直すべきである。
- 教職員の不始末に甘い。一般社員では更迭・退職・解雇でもおかしくないのにずっといさせている。高い給料をもらって一日新聞を読んでいる人は必要ないと思う。人事が決めた人事を理事会で変えるって本当ですか？大学の名をキズつけた人が留まり、大きな処分もないって変ですよ。何年も(知る限りでは8年以上)論文書いてない人が教授でい続けるんですね。学生が嫌悪する先生には注意すべきです。
- 本学では決定までのスピードが遅すぎ。東洋に負けているのは、そこだと考える。もっと権限を。
- 大学事務の仕事は一年のサイクルなので、一年に一回しか発生しない業務が多い。にもかかわらず3年で雇い止めを行い、新しい人にすべてを数日で引き継ぎ、前任者がいない中仕事を任せるとはミスにつながると思う。大学の信用にもつながる。また派遣社員を増やす傾向にあると聞くと、今は学生のために、受験生の増加のために自主的に行っていることが派遣職員になると帰属意識が薄れ、今と同じようには頑張れないと思う。
- 節電意識で1Fのトイレの電気をまめに消すのはやめた方が良くと思う。部外者にとって暗いトイレは印象が悪い。LEDや人感センサーを検討すればよいと思う。さらにトイレだけは今風の清潔感のあるトイレに改装してほしい。
- 意外にブラックだと感じることもある。人ではなく、組織として。
- 理事長はもっと教員に対しても身近な存在であるべきではないか。また様々な責任を負うべきだと思う。学生募集や学生の教育・学びにもっと関心を持って臨むべきだし、財政的な面についてはあるべき姿を提案しながら、こういった経営により、どのような学園にしていくのか、皆に明示すべきではないか。ただ理事長の椅子を温めているだけでは意味がない。
- 基本的マナー、挨拶ができない教職員が多すぎ。これが大東文化大学なんだと、つくづく感じている。
- 学生に対して偉そうなことは言えないと思う。低レベルすぎ。
- 大東文化をよくするために協力する姿が見られない。皆、お互いに競争し合っている。昔ながらの派閥などがあり、お互いに協力しない。板橋、東松山と教員。板橋が偉いのではなく、どちらも平等。1つの学科は4年間同じキャンパスにするべき。板橋はA学部4年間など。50%女性教員、10%外国教員と男性の日本人に支配されている組織を改めるべきだ。早期退職制度を設けるべきだ。
- 奨学金は現状の方法に加えて待生入試を行い、他の学生に良い影響を与え、大学の実績を高めることが期待される優秀な学生を呼び込む方が良い。またこの受験者は通常の本学の受験者層ではないので、受験者数の純増が期待できる。経済的理由で進学をあきらめる優秀な高校生を救えるのではないか。
- 経済的困窮学生、特に4年生へは奨学金よりも無利子の緊急融資を行った方が除籍者の減少につながるのではないのでしょうか。
- 奨学金の返済計画も含めて学生本人が自身の経済状況と展望を認識できるようミクロな視点のファイナンス講座を開講してはどうか。
- 全般的に、規則を定めて運用で回避するということが多い。規則を定めるときにデメリットもわかっていたはずが、デメリットを避けるため規則が規則として機能しないことが多い。
- 身分昇格の際に、同じ通信教育講座を受けているはずですが、課題解決の話し合いでは、業務の標準化などのスキルを活用する場面を見ることが少なく、どうしても継ぎ足しや臨機応変に例外対応するというケースが多いように見受けられます。
- デプロマ・ポリシーが形骸化している。
- 特に大東文化大学に縁があるわけでもない広告代理店任せにせず、受験生増のためのアイデアを全職員から募り、コンペティションを行ってはどうか。
- メディアで称賛される中堅大学の取り組みは、実際には生協の企画であることが多い。学園として生協の知恵を借りて、その活動をバックアップすれば大学の評判が上がるような取り組みが進むのではないのでしょうか。
- 本来、受験者を増やす、大学の魅力を高めるということは難しい事ではありません。かつて自身も受験生であり、家庭では学生の父母であったり、親戚に子どもがいることが多いでしょうから、どのような大学にすれば評価が高まるか自明の部分もあるでしょう。現状はこの観点で議論することが少ないことが問題ではないかと思えます。
- 学生が犯罪の加害者にも被害者にもなる可能性が高まっています。学園は学生の私生活に関与しないという考え方から、何をおいても学生の人権が大事という考え方で様々な意見がありますが、これまで通りの接し方でいいのか学園の見解をお聞かせください。
- 高校生がキャンパス見学に訪れるのをよく見ます。ガイド役の学生アルバイトは、自分なりに工夫して大学の魅力を伝えようとしています。彼らが誇れるような、小さくてもわかりやすいトピックを多く作ることが意識のひっかかりとしては大事ではないのでしょうか。

組合に対する要望がございましたら、自由にお書きください。

- 4 月に着任したばかりで、十分に答えられないものが多いです。追々考えることになると思います。
- 多くの人の声を聞いてくださってありがとうございます。
- 応援しております。
- 今回のアンケートは大半が内情が良く分からない内容で、答えに困りました。前回のアンケートは大変興味深い内容で良かったですが、私たちの部署には解答用紙が配布されず、アルバイトの方には配布されたようで、集計結果が非常に片寄った意見の結果になったように思います。
- もっと、専任教員・専任職ばかりで、アルバイト・非常勤の人たちも厚くしてほしいです。
- 1 号館が古すぎる。教壇の雨漏り、足らない蛍光灯（抜いてあっても補充なし）教育意欲が萎えます。
- アンケートの作成・実施御苦労様です。P2、P4 などの設問は複数回答なのか最も当てはまるものみの単一回答かわかりませんでした。今後、この手のアンケートを実施する際は明記いただけると助かります。
- 学長主導で東松山における看護学科新設の提案が再度されると聞いていますが、学生募集上の競争力や採算性に個人的に大きな不安を感じます。大学財政への影響も大きい事項ですので組合としてアンケートを通じて教職員の意見分布を調査して下さいよう要望します。
- 自民党政権の人文系大学・高校への圧力等、横暴ぶりが目に余る。日教組に対するように貴組合にもいつどんな攻勢を仕掛けてくるか不安である。今回の様な意見交換を今後もすすめよりよい大学を目指していくことで体制に抗い学生の将来を守っていかなければならない！
- 役職手当だけでなく、そもそも他大学の基本給や各種手当、福利厚生がどうなっているのかについても情報を提供して頂きたいと思います。（例えば某有名私大では、60 代で 2000 万出ていると聞きますが本当でしょうか？）その上で総合的に判断し、今後の方向性を考えていくのが望ましいと思います。
- 加入率を増やす方策を考えてください。
- 「桐」投稿文は「学科主任の仕事は全員で分担すれば良いので役職手当は不要である」という趣旨ですが、現実には可能かどうかよく考えてみるべきでしょうか。分担できることではないので「主任」を置いているのではないのでしょうか。
- 大変でしょうが頑張ってください。
- 活動、お疲れ様です。活性化のためにも、どんどん提案してください。
- 1、「専任教員就業規則」について。これまでの大学の内規で緩やかに決まっていたことを、法規で縛るという動きがある。これに反対します。その理由は、内容が稚拙であいまいで、一方的に教員に対する大学の権利を主張しているからである。
  - 2、研究科（大学院）、担当者、非担当者の仕事量の差が大きすぎる。担当者の手当を大幅に増やすか、または全教員が研究科を担当する用意するか、または廃止するべき。全学レベルで討議・改善をしなければならない問題。
- アンケートに協力する意向だけれども、アルバイトなので今回のアンケート内容では答えられなかった。申し訳ありません。
- このようなアンケートに初めて接し感激しています。先の春闘アンケートもしていただき、だんだん我々非常勤の不安・希望・要望に答えられる学園になるといいですね。
- やはり、ステイタス（専任・非専任/職員・教員）はアンケートの上では尋ねたほうが良いのでは。私の経験から言えば、非常勤には非常勤特有の問題もある。
- QC 活動がない職場では職員全員が組合に加入するぐらいでない共通の目的意識を持ってないのではないのでしょうか。

本紙は大学組合webサイト<http://www.boreas.dti.ne.jp/daito-un/> にも掲載しています。

本紙へのご投稿、ご意見、ご質問は [daito-un@boreas.dti.ne.jp](mailto:daito-un@boreas.dti.ne.jp) にお寄せください。